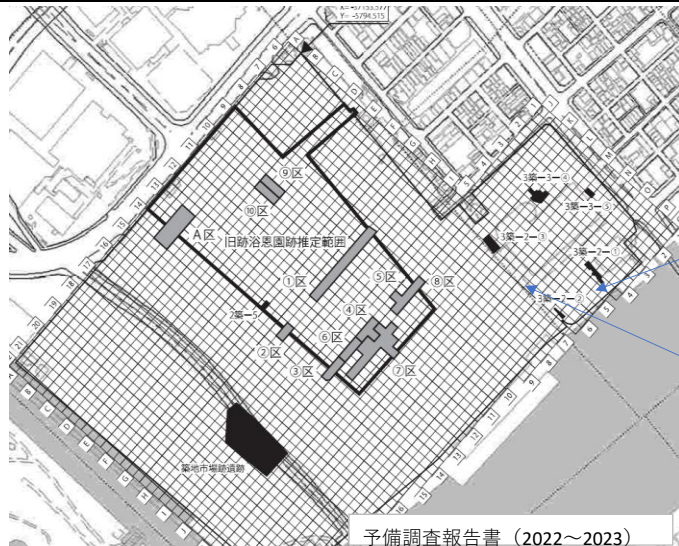


年度	東京都の築地市場沿いの隅田川のスーパー堤防計画	都のスーパー堤防地の埋蔵文化財発掘調査	都の築地再開発地の埋蔵文化財発掘調査
1980～2000	築地市場再整備と移転をめぐる検討が東京都でされ築地市場の再整備とスーパー堤防の一体化構想となる。		
2018	築地市場が豊洲へ移転終了。19haの跡地再開発構想に向けた東京都の動きが活発化		
2018	「築地まちづくり方針」策定し、スーパー堤防計画を位置付ける。		
2020			試掘調査（2築-5）：浴恩園の春風の池の西。 近世の遺構が濃密に遺存可能性大
2021		試掘（3築-2-①、3築-2-②）：旧築地ホテル館敷地の隅田川沿い。レンガ積みのみ	試掘（3築-2-③）旧築地ホテル館敷地。波除神社南で 間知石護岸。築地川東支川の左岸護岸
2021～2022			予備調査。浴恩園、池の護岸等発見
2022	築地地区まちづくり事業の実施方針・募集要項で、スーパー堤防を再開発敷地の隅田川沿いに明記し、添付資料4で、都と民間事業者の整備分担の断面図を提示し、再開発の前提条件としている。	試掘：旧築地ホテル館敷地の隅田川沿い。 江戸期と明治期の石積み護岸	試掘調査、浴恩園より西の旧尾張藩敷地
2023年3月	応募事業者との質疑回答533で、「令和3～4年度の埋蔵文化財調査の結果は、令和5年春頃の公表を予定しています。なお、調査で発見された旧浴恩園の池の護岸等は、現地保存について検討を要するような重要な遺構ではなかったため、保存方法等について公表する予定はありません。」		
2023			試掘調査；浴恩園の春風の池の北。開発敷地の境界北東。
2024	再開発事業者決定で、再開発とスーパー堤防整備の一体化の具体化		
2025		スーパー堤防の実施設計・施工準備段階での発掘調査。 2025年3月～本格発掘	本発掘開始
2026		江戸期から明治期の旧護岸・突堤の発見	浴恩園関連、海軍施設、製鋼炉、光学ガラス炉などを確認



★ 問題点

- ① スーパー堤防計画策定時に、隅田川護岸の埋蔵文化財の価値を東京都は評価せず、計画した。
- ② 築地市場跡地の再開発事業を、埋蔵文化財の保全にはふれず、スーパー堤防公共事業と一体化した民間開発の事業として募集した。
- ③ 事業者を確定し、基本計画提案、環境影響評価書案提出の段階で、江戸期・明治期の重要な埋蔵文化財が発掘されたのみ、スーパー堤防計画及び築地再開発計画の見直しをしない問題が明らかになってきた。

★本来は、築地市場跡地及び堤防地の埋蔵文化財調査を実施し、その上で、現地保存か移設保存か等の検討を専門的科学的民主的に実施し、土地利用保全と活用の構想をつくり、スーパー堤防計画と、再開発事業条件を明確にすべきであった。原点に返ること。

